

議員特別研修実施報告書

報告議員名	土谷 久男	報告日	令和8年3月31日
調査研究・研修等 名 称	「データで読み解く人口減少対策」		
実 施 日	令和 8年 3月30日		
会 場	リファレンス西新宿大京ビル (地方議員研究会)		
調査研究・研修等の 概 要	<p>・データから見る働きながら子育てする事への実態 少子化の本当の原因は何？ 20代、30代の女性は子供を産まないのか・産めないのか？ 子どもの産める環境がどんどん悪くなっている社会に問題があり、人口減が進んでいる。2005年を境に単身世帯が右肩上がりに増えているのが現実である。子育て支援等の政策の多くは大都市圏が優位で地方には行き届いていないのが現状である。地域格差は間違いなくあるとのことでした。 少子化対策の為に、政府は待機児童ゼロを目指して様々な施策をしたが、機能していないとの見方でした。</p>		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>データから見る人口減少社会における出産と子供・子育て支援策の問題点と課題について勉強してきました。 数字だと、大都市圏はそんなに人口が激減していないことが分かりました。ただ、子供の数はそれなりに減っています。 しかし、地方のように激減していないようです。同じ子育て支援策についても、恩恵受けられるのは、大都市圏のみに限り、地方は置き去りになっているように思えました。 施策を検討するときは、地方と大都市圏を分けて施策を検討するべきではないかと思いました。今回は、大変勉強になりました。</p>		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

議員特別研修実施報告書

報告議員名	土谷 久男	報告日	令和8年3月31日
調査研究・研修等 名 称	「介護保険制度の財源と給付の在り方と地域包括ケアシステム」		
実 施 日	令和 8年 3月31日		
会 場	リファレンス西新宿大京ビル (地方議員研究会)		
調査研究・研修等の 概 要	<p>介護保険制度を取り巻く環境 貴方の自治体はこのまま介護保険が継続できるだろうか？2040年には85歳以上の人口を中心とした高齢化と、生産年齢人口の減少。都市部は高齢人口増加、過疎地域は高齢人口の減少と、この様に厚生労働省は推計しているが、都市部も過疎地域も要介護認定率が85歳以上で急増加。85歳以上人口は、75歳以上を上回って急増する。介護保険制度利用者も急増する。</p> <p>2015年と比較した2050年の人口減少の割合は、全国558市町村で人口が半数未満となる。そのうち21市町村が25%未満に。特に人口が半減する中山間地域等に多く見られる。</p>		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>介護保険制度の仕組みについて勉強をしてきました。</p> <p>ベースは、50%が税金 (12.5%・市町村 12.5%・都道府県 25%・国) 介護保険が50% (財政安定化基金対応) →人口比に基づき設定されている。保険者は市町村となる。</p> <p>人口が減少し、納税者が減れば税収も減ります。したがって現状の仕組みだと、地方では介護保険制度が崩壊します。サービスを受ける事が出来なくなります。しかし、高齢者は増え続けることとなります。近い将来必ずこの問題にぶつかります。その前に抜本的な対策をとることが課題となります。</p> <p>高齢者は在宅介護サービスよりも、施設系サービスを選ぶと考えます。すると高額なサービスが主となり。自治体の体力を奪っていくものと想像できます。各自治体はこれらの事に備えなくてはならないと感じました。</p>		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。